

気持ちのよい令和4年度のスタートへ

前回のHP（3/9）では『卒業』をテーマとし、「6年生にとっては卒業式まであと14日（登校日はあと9日）」と記載しました。それが、本日は「卒業式まであと8日（登校日はあと5日）、1～5年生にとって修了式まであと9日（登校日はあと5日）」となりました。土日を挟んだので、登校日の日数はあまり減っていないように感じるかもしれませんね。「まだ5日もある。」なんて思っている人はいないと思いますが。

さて、令和3年度もあと16日で終了し、その翌日から令和4年度がスタートします。

その締め括り・区切りをどのようにつけるか、ということが今回のテーマです。一番よくないのが、令和3年度のやり残しをもち、気持ちの切り替えもなく、4月1日を迎えることです。そうすると、令和4年度も新たな気持ちでのスタートを切ることができず、何も変わらないままになってしまいます。誰もが新たな気持ちで、自分なりの願いをもって、令和4年度を迎えてほしいのです。新年・新学期と、誰にとっても明らかに節目となる時があります。また、節目は自分の心の持ち様で、いつでも生み出すことができます。こうして、様々な節目がある中、新年度というのは、誰もが経験する一番大きなものであると思います。これまでの自分から新年度を機に変わろうと思うことは、何の不自然さありません。

だからこそ、令和3年度の締め括り・区切りがとても大切なんです。

担任の先生方から、今年度中にやり切る事・確かめる事・鍛える事について話を聞きました。現在の学年の内に身につけるべきこと、鍛えておいた方がよいことは必ずあります。そのことにこだわって、全員で・全員がやり切って終わろうとする取組は大切にしたいことです。

そのことは当たり前のこととして、個人的には何をすればすっきりして新年度を迎えられるのか、明らかにさせたいです。

「できた。」「終わった。」「やって良かった。」「頑張った。」といった満足感や達成感をもつことができれば、「よし、令和4年度も頑張ろう！」「令和4年度は〇〇を頑張ろう！」といった新たな決意をもつことができます。

71名が気持ちのよいスタートが切れるよう、今自分がやるべきことをやり切る姿を期待します。